

Elazzio

SEAT COVER



TOYOTA
PRIUS
PRIUS PHV

専用シートカバー取付説明書

1077/1078/1220/1221

Elazzio

SEAT COVER

このたびは「Elazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

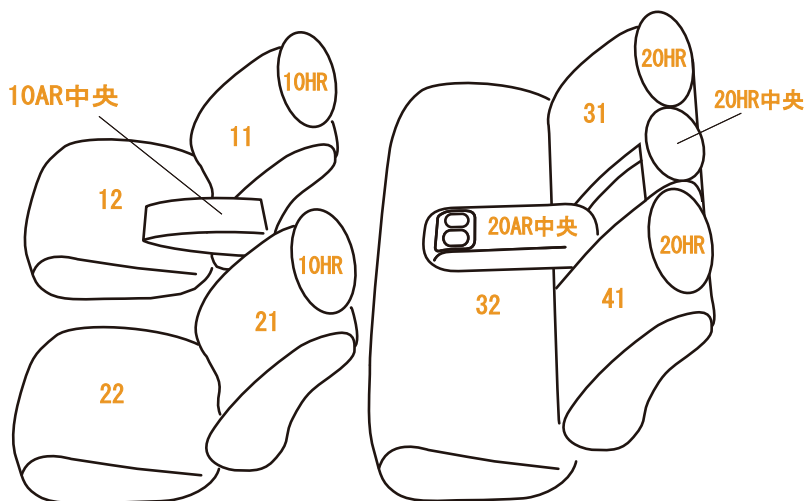
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 1P~2P
警告 サイドエアバッグについて	…> 3P~4P
1 列目座面の装着方法	…> 5P~8P
1 列目背もたれの装着方法	…> 9P~11P
2 列目座面装着方法	…> 12P~15P
2 列目背もたれの装着方法	…> 15P~18P
ヘッドレストの装着方法	…> 19P~20P
1 列目アームレストの装着方法	…> 21P~22P
2 列目アームレストの装着方法	…> 23P~24P
完成図	…> 24P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 25P~26P

本製品シート形状とパーツの名称



※アームレスト装備車のシート配置図です

取付必要工具



① クラッツィオ 専用 ヘラ (付属)

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかきつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかけられないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。

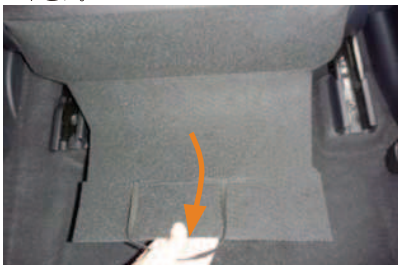


- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

Step 1

…> 1 列目座面の装着方法

※1 列目座面シートは主にシートリフター装備車の手動シートで説明しています。
パワーシート車・シートリフター装備車は、シートを一番高い状態にして、シートカバーの装着を行って下さい。



- 1 始めに背もたれ背面からシート裏に固定されている生地を外します。生地はシート裏でフックにゴムを引っ掛けて固定しています。ゴムの固定をほどき、図のように生地を外します。



- 2 カバーの内側面の生地裏にマジックテープが付いています。マジックテープに保護テープが付いている場合は、固定する前に外すようにして下さい。



- 3 シートベルトバックルにカバーの加工穴を通してします。



- 4 シートのラインに合わせて、カバーを前から後ろへかぶせます。



- 5 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。シートを前に倒すと隙間が広くなり生地が入れ込みやすくなります。



- 6 生地両端に付いている先端にバックルの付いたベルトを、シートの隙間が広い中央部分から入れ込みます。ベルトがねじれないように入れ込んで下さい。



- 7 5ページ5番で入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。この際、サイドエアバッグの配線・快適温熱シート装備車はシートヒーターの配線に注意して生地を引き出して下さい。



- 8 5ページ6番で入れ込んだベルトを引き出します。ベルトは配線の外側に来るように中央部分から端へずらします。ベルト部分は強く引き過ぎると生地が破れるので、ご注意ください。



- 9 カバー外側面の生地をシートとプラスチック部の隙間に入れ込み固定します。



- 10 運転席側のカバー外側面後ろ側にゴムが付いています。ゴムをシートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。
※運転席パワーシート・シートリフター未装備車・助手席のカバーにゴムは付いていません。



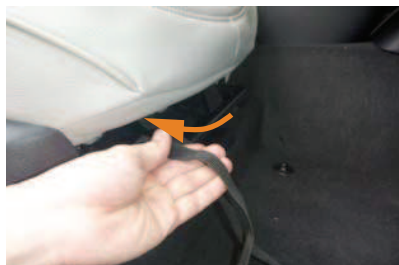
- 11 入れ込んだゴムを、シートの背面裏から引き出します。



- 12 ゴムに付属の金属フックを付けて、シート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。



- 13 カバー外側のシート付け根部分は隙間が大変狭くなっています。ヘラなどを使用してプラスチック部の内側に沿わせるように、生地を入れ込みます。



- 16 手動シートの図です。カバーの前側に付いている4本のベルトをシート裏を通してシートの背面へ入れ込みます。



- 14 カバー内側面の裏側に付いているマジックテープを、直接シートに貼り付けて固定します。5ページ2番の説明にもあるようにマジックテープに保護テープが付いている場合はそちらを外し固定して下さい。



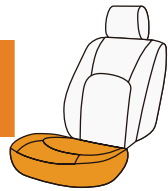
- 17 パワーシートの図です。カバーの前側に付いている4本のベルトをプラスチック部の内側を通して、プラスチック部の下側からベルトを引き出します。引き出したベルトをシート裏へ入れ込みます。



- 15 カバー内側面下の前後にマジックテープが付いています。こちらでも直接シートの生地に貼り付けて固定します。



- 18 パワーシートのシートの背面裏側です。入れ込んだベルトを、シート裏のパーツの上側を通すようにして、シートの背面へ入れ込みます。
※パーツの上側にベルトを通すするには、シートを一番高い位置まで上げておかないと出来ないので、ご注意ください。



- 19 シートの背面からベルトを引き出します。



- 22 カバーの一番内側のベルトは図の位置で固定されます。



- 20 6ページ7番・8番で引き出した生地に付いているバックルに、引き出したベルトを通して固定します。



- 23 カバーの背面は図のようになります。



- 21 ベルトは①～③の順番でバックルを通して引き、カバーの前後を固定します。ベルトは強く引き過ぎると生地が裂けたり、カバーの表面が浮いてしまうので適度に調整して下さい。



- 24 カバーのラインを整えて1列目運転席座面の完成です。助手席も一部形状は異なりますが、同様に取り付けます。

Step 2

…> 1列目背もたれの装着方法



注意

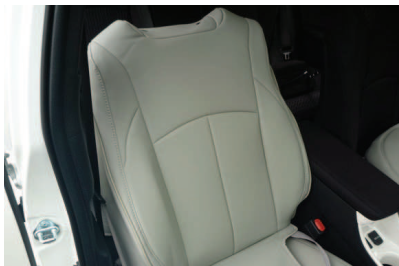
サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



助手席ファスナー付きポケット装備車は、この位置で生地を折りたたむ

- 1 カバー外側面のファスナーを開いてシートにかぶせます。5ページ1番で外した生地をめくり上げて、カバーの中へ入れ込みます。

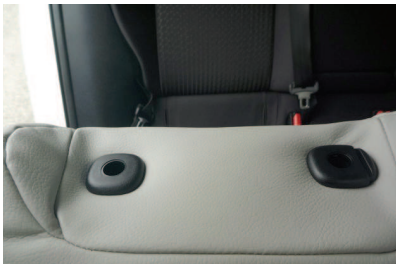
※この際、助手席ファスナー付きポケット装備車は、めくり上げた生地をポケットの手前で折りたたみ、ポケットを生地で覆ってしまわないようにご注意ください。



- 2 シートのラインを合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。この際シート先端の突起した肩口まで生地が張るように、しっかりとかぶせて下さい。



- 3 ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から出します。台座の方側のフチに生地をしっかりとしり込みます。



- 4 生地の伸びを利用して図のように台座を出します。



- 5 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。シートを前に倒すと隙間が広くなり生地が入れ込みやすくなります。



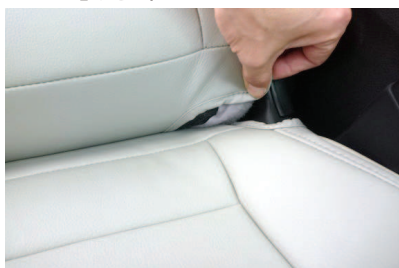
- 6 生地の両端に付いているマジックテープをシートの隙間が広い中央部分から入れ込みます。マジックテープがねじれないように入れ込んで下さい。



- 7 9ページ5番で入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。この際、サイドエアバッグの配線・快適温熱シート装備車はシートヒーターの配線に注意して生地を引き出して下さい。



- 8 9ページ6番で入れ込んだマジックテープを引き出します。マジックテープは配線の外側に来るように中央部分から端へずらしします。マジックテープ部分は強く引き過ぎると生地が破れたり縫製系が切れるので、ご注意ください。



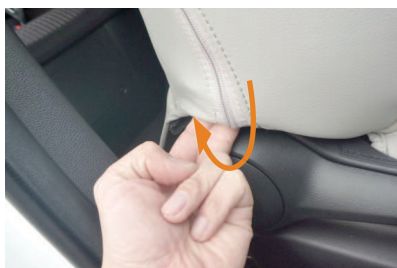
- 9 シートを後ろへ倒すとマジックテープが付いている生地部分が見えます。こちらにシワが寄らないようにしっかりとシートに馴染ませて下さい。



- 10 カバー側面の生地を、図の①～③の順番でシートに密着させるようにして、シワをなくしていきます。側面の生地がしっかりと張るまで繰り返し行って下さい。



- 11 カバー外側面のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーを閉じる際、ベンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 12 ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 13 10ページ7番で引き出した生地とカバーの背面下をマジックテープで固定します。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバックが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバックが開かない可能性があり、危険です。



- 14 10ページ8番で引き出したマジックテープとカバーの背面下を固定します。引き出したマジックテープは長めに設計しています。丁度良い位置で固定して下さい。



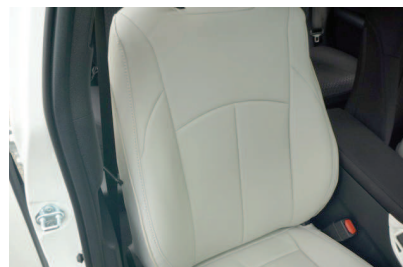
- 15 カバー背面下のゴムに付属の金属フックを付けます。



- 16 金属フックはシート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。



- 17 助手席ファスナー付きポケット装備車は、ポケットを使用する際に、まずシートカバーのファスナーを開き、次に純正シート地のファスナーを開いて使用するようになります。



- 18 サイドエアバックの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。カバーのラインを整えて1列目運転席背もたれの完成です。助手席も同様に取り付けます。

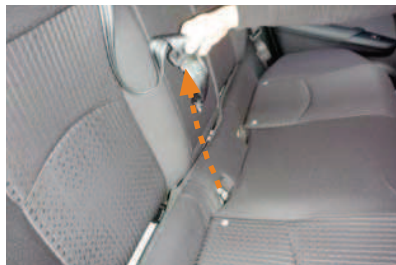
Step 3

…> 2列目座面の装着方法

2列目座面シートは車体からシートを外してカバーの装着を行います。座面シートを外すにはかなり力を入れてシートを持ち上げる必要があります。怪我等をされないようご注意ください。



- 1 まずは図からシートを固定しているフックの位置を確認して下さい。車体側に受けがあり、シートにフックが2か所ずつあります。



- 4 中央シートベルトをシートから抜き出します。



- 2 フックの固定は真上にしかりとシートを持ち上げて外します。シート裏のフックのすぐ横に手を添えて、片側ずつ持ち上げます。誤った位置を持ってシートを持ち上げると、シートのクッションのみがめくれるようになるので、ご注意ください。



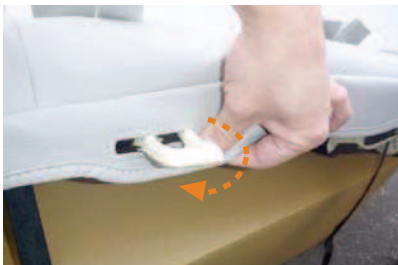
- 5 固定を外したシートを、車外の作業が行いやすい場所へ運び出します。シートを運ぶ際は車体に傷を付けたりしないように慎重に運び出して下さい。



- 3 フック2か所の固定が外れたら、シートを持ち上げた状態のシート裏で、3点式中央シートベルトの固定を外します。図はすでにシートベルトを外しています。中央シートベルトバックルの図の位置を、先端の細いもので押すと、シートベルトの固定が外れます。図では爪楊枝を使用しています。



- 6 カバー裏に付いているベルト4本を、チャイルドシート固定用に開いているシートの穴に通します。中央2本のベルトはどこの穴にも通さないで、ご注意ください。



7 シート背面の図のコの字型のフックにカバーの加工穴を通します。



10 シートを裏返してカバー前後のベルト6本を固定します。



8 シート背面の両端に、カバーのマジックテープを直接貼り付けて固定します。



11 カバー側面の生地をシートの裏へしっかり回るようにかぶせませす。



9 シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせませす。



12 カバーの側面から出ているヒモの方側で、図のように輪を作ります。



13 13ページ12番で作った輪にもう片側のヒモを通します。通したヒモを引き、カバーの下周りを絞込み結び留めます。



16 2列目背もたれカバー装着後、シートを元に戻します。シートを車体に戻す際、シートベルトバックルをシートの加工穴に合わせて入れ込みます。



14 シートの裏は図のようになります。



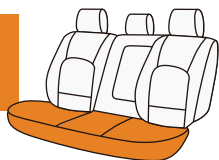
17 シートベルトバックルの収納部にヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



15 シートを表に向けてカバーのラインを整えます。シートベルトバックル部分の生地はまだ出したままにしておきます。シートは2列目背もたれカバー装着後、車体に戻します。



18 12ページ3番で外した中央シートベルトをバックルに固定します。

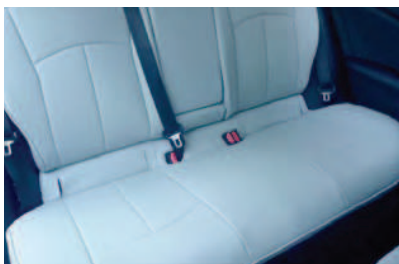


Step 4 …> 2列目背もたれの装着方法

※図は2列目アームレスト装備車で説明を行っています。アームレスト未装備車も形状は異なりますが、同様の固定方法で装着を行うので、一緒にご確認ください。



- 19 シートベルトバックルとシートの間は大変狭いため、バックルがなかなか出てこない場合はシートベルトを差し込み引き出すと作業が行いやすくなります。



- 20 シートを車体に元通り固定して、カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。



- 1 カバーの装着を行う前に、トランク側からラゲジボードを外します。



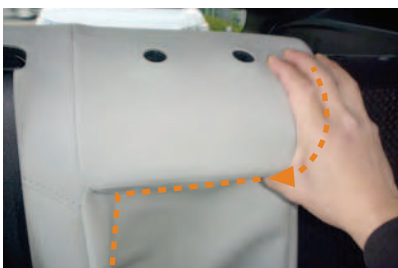
- 2 カバーの装着を行う前に確認して下さい。図は背もたれカバーのリクライニングレバー用の加工穴の付近に、カバーに縦に切ったような傷が入っている図です。こちらの傷は座面を外した状態で背もたれカバーを装着して、シートを前に倒した際車体と図の位置が接触したことにより入る傷です。この傷が入る現象を防ぐためには、座面シートを外している車体側に、クッションとなる布などを敷いて、カバーと車体が直接接触しないように対策して下さい。助手席側も同様です。



- 3 カバーの装着を行います。始めにカバーの加工穴に中央シートベルトを通します。



- 4 アームレストを斜めに倒してカバーの加工穴から出します。
カバーをシートのラインに合わせて、シート全体にかぶせます。



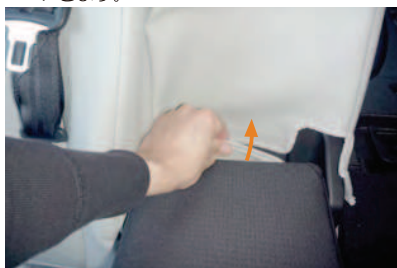
- 5 アームレストの収納部は特にしっかりとシートのラインを整えます。



- 6 ヘッドレストの台座を取り出します。



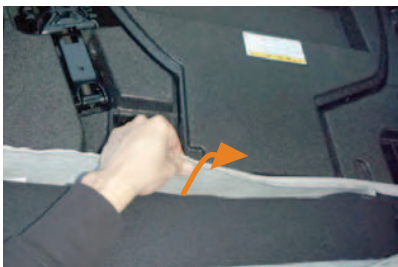
- 7 アームレストの下から、先端にフックの付いた生地を入れ込みます。生地が入り込みづらい場合は入れ込もうとしている手を添えたまま、アームレストを倒す・起こすと繰り返すことで、生地が徐々に入り込んでいきます。



- 8 アームレストを倒して生地を引き出します。



- 9 シートの下からカバーを入れ込みます。



- 10 シートを前に倒して16ページ9番で入れた生地を引き出します。
 ※この際、15ページ2番の説明でもあるように、座面シートを外しているのでシートを前に倒した際、カバーを傷付けたり汚したりしないようにご注意ください。



- 11 引き出した生地とカバーの背面下をファスナーで固定します。生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。



- 12 ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



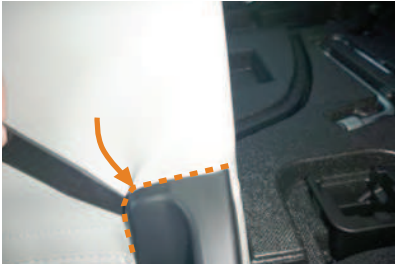
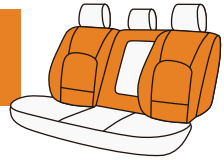
- 13 カバー内側面のファスナーも生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。



- 14 シートの内側です。アームレスト軸部分のプラスチック部のカバーは、図のような形状をしています。



- 15 アームレスト軸部分のプラスチック部に、ヘラなどを使用して14番の生地を入れ込みます。



16 アームレスト軸部分の図のプラスチック部に、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



19 中央シートベルトのフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。中央シートベルトのプラスチック部はツメが外れやすくなっているので、作業は慎重に行ってください。



17 16ページ8番で引き出した生地とアームレスト収納部下の生地をマジックテープで固定します。
16ページ8番で引き出した生地は、アームレスト軸部分のプラスチック部に生地は入れ込みません。



20 図のシートを固定する受けの部分にカバーの加工穴があっているか確認して下さい。加工穴は少し大きめに開けていますが、ずれて受け部分を塞いで使用すると、生地が破れる恐れがあるので、ご注意ください。



18 リクライニングレバーのフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。リクライニングレバー部のプラスチック部はツメが外れやすくなっているので、作業は慎重に行ってください。



21 カバーのラインを整えて、2列目運転席側 背もたれカバーの完成です。アームレスト収納部はアームレストカバー装着後、アームレストをしばらく背もたれ側に収めた状態にしておくことで生地がシートに馴染んでいきます。
助手席側・アームレスト未装備車も形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。

Step 5

…→ ヘッドレストの装着方法

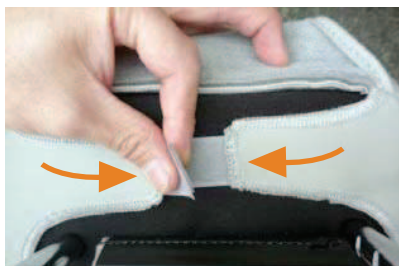
一部のカバーに同梱しているビニールをヘッドレストにかぶせてカバーの装着を行うと作業が行いやすくなります。ビニールはカバー装着後、破って取り出して下さい。※ベーシックシリーズには同梱されません。



- 1 カバーの入り口部分を裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前です。



- 2 ヘッドレストのラインからずれないようにカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



- 3 ヘッドレストをシートから外して、ヘッドレスト裏で生地を内へ寄せながらマジックテープを固定します。



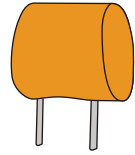
- 4 ヘッドレスト裏でブラックを固定します。



- 5 ブラックの固定方法は、かぎ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



- 6 ヘッドレスト裏は図のようになります。



7 カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。



10 ヘッドレスト裏で生地を内へ寄せながらマジックテープを固定して、1列目同様にブラックを固定します。



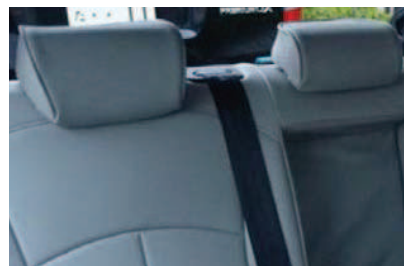
8 2列目ヘッドレストです。2列目ヘッドレストは図の矢印方向に、ヘッドレストのラインに合わせて下から上へかぶせます。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前です。



11 2列目ヘッドレストの裏は図のようになります。2列目ヘッドレストはカバーをかぶせやすくするために、軸周りの穴を大きめに開けています。



9 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



12 カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。2列目中央ヘッドレスも形状は異なりますが同様に取り付けます。

Step 6

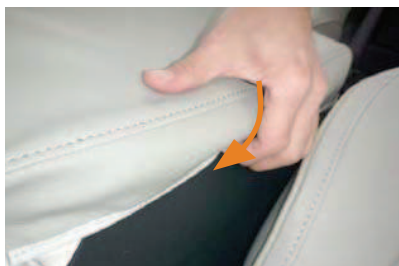
…> 1列目アームレストの装着方法



- 1** カバーの前後を確かめます。図の点線のカバーの部分が短い方が前になります。



- 2** アームレストのラインに合わせてカバーをかぶせます。



- 3** アームレストの助手席側です。アームレストのフタを開けながら隙間に生地を入れ込みます。



- 4** アームレストのフタを開けて入れ込んだ生地を引き出します。



- 5** ここからはひたすらフチに生地を入れ込んでいきます。ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。アームレストのフタを開けた状態で作業をするので、破損させないように生地を入れ込む際は、フタ部分をしっかりと支えて作業を行って下さい。



- 6** アームレストの先端部分に生地を入れ込みます。生地が入れ込みづらい場合は、ヘラのみを隙間に入れ、生地の入る角度を確認してから生地を入れ込むと作業が行いやすくなります。



7 アームレストの角は生地が重なり一番作業が大変になります。生地を入れ込みづらい場合は、ヘラなどを2本用意して、1本で隙間を広げるために差し込んだ状態にしてもう1本で生地を入れ込むと作業が行いやすくなります。



8 生地を入れ込んでいく際に、フタのツメが外れてしまう場合があります。ツメが外れた場合はフタを閉じて、上から押してツメを固定します。



9 アームレストのフタ裏後ろ側です。図のように生地が収まります。



10 アームレストのフタ裏側面です。図のように生地が収まります。



11 アームレストのフタ裏前側です。図のように生地が収まります。



12 カバーのラインを整えて、1列目アームレストの完成です。

Step 7

…→ 2列目アームレストの装着方法



- 1** カバーの入り口を裏返して、アームレストのラインに合わせてかぶせます。この際アームレストの先端まで生地が張るように、しっかりとかぶせて下さい。



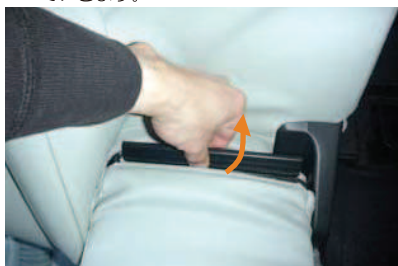
- 2** アームレストの助手席側付け根部分に、生地を巻き付けるようにかぶせます。



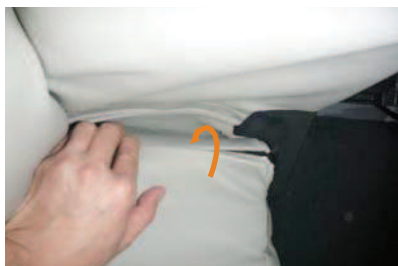
- 3** アームレスト全体にカバーをかぶせます。



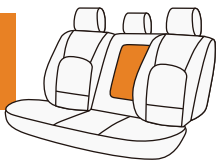
- 4** アームレストの下から、先端にフックの付いた生地を入れ込みます。生地が入り込みづらい場合は入れ込みようとしている手を添えながら、アームレストを倒す・起こすことと繰り返すことで、生地が徐々に入り込んでいきます。



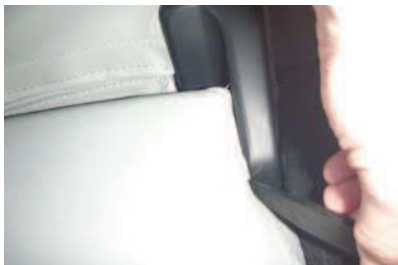
- 5** アームレストを倒して入れ込んだ生地を引き出します。



- 6** ヘッドレスト同様にブラフックで固定します。



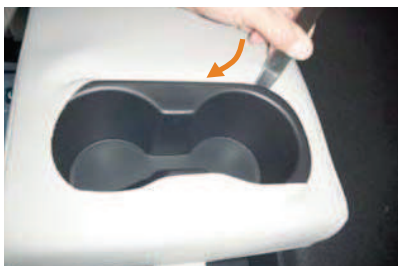
…> 完成図



7 アームレスト軸部分の生地を、ヘラなどを使用して隙間にしっかり入れ込みます。



1 列目



8 ドリンクホルダーのフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。。



2 列目



9 カバーのラインを整えて、2列目アームレストの完成です。



2 列目（アームレスト未装備車）

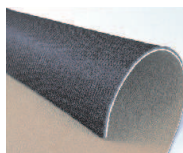


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかりと水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816